

第 60 回 中小企業景況調査

(平成 31 年 1 月～3 月)

《 調査結果の要約 》

全業種業況は、ほとんどの業種（製造業、建設業、小売業（最寄品）、小売業（買回品）、サービス業）で低下しているものの、飲食業では大幅な回復傾向が見られる。

業種別にみると、下記の通りである。

3 ヶ月前と比べて好転 ↑ : 飲食業

3 ヶ月前と比べて悪化 ↓ : 製造業、建設業、小売業（最寄品）、小売業（買回品）、サービス業

1. 全業種の業況判断DIは、▲15.1%（前期比 11.1 ポイント減）と大幅な低下が見られるものの、3 ヶ月先は+8.5 ポイントと再び回復の見通しとなっている。
2. 設備投資件数は 22 件（3 ヶ月前に比べて 6 件減）となっている。その上位内訳は OA 機器 6 件、機械設備 4 件、車両運搬具 4 件、建物等 4 件、その他 4 件となっている。
3. 経営上の問題点（回答社数に対する比率）は、①需要の停滞 21%（42 社）が最も多く、②利用者ニーズの変化 17%（34 社）、③単価の低下・上昇難 14%（28 社）、④人件費以外の経費の増加 14%（27 社）⑤人件費の増加 13%（25 社）が続いている。

<国内および神奈川県の中企業の景況トピックス>

- ・ 中企業の業況は、一部業種に一服感が見られるものの、基調としては緩やかに改善している。
 - (1) 2019 年 1～3 月の全産業の景況判断DIは、▲14.9（前期差 1.1 ポイント減）となり、2 期ぶりに低下した。
 - (2) 製造業の業況判断DIは、▲14.5（前期差 4.3 ポイント減）となり、2 期ぶりに低下した。業種別に見ると、パルプ・紙・紙加工品、木材・木製品、食料品など 4 業種で上昇し、電気・情報通信機械器具・電子部品、鉄鋼・非鉄金属、輸送用機械器具、金属製品、機械器具など 10 業種で低下した。非製造業の業況判断DIは、▲15.0（前期差 0.0 ポイント）となり、横ばいであった。産業別に見ると、サービス業、小売業で上昇し、卸売業、建設業で低下した。
- ・ 神奈川県中企業の総合業況DIは、前期比 4.6 ポイント低下の▲17.1 となった。経営状況では、売上 DI は前期比 13.5 ポイント低下の▲20.2、また、採算 DI は同 6.3 ポイント低下の▲27.7 となった。今後の業況 DI を見ると、3 ヶ月後は現在比 5.5 ポイント低下の▲22.6、半年後は同 11.3 ポイント低下の▲28.4 を見込んでいる。

※ 国内は独立行政法人中小企業基盤整備機構、神奈川県は公益財団法人神奈川産業振興センターの調査報告書から抜粋。

《 調査概要 》

1. 調査時点：平成 31 年 4 月現在
2. 調査件数：鎌倉市内の中小企業、特に小規模企業（製造業・建設業・小売業（最寄品）・小売業（買回品）・飲食業・サービス業）の中から 162 社を抽出しました。

	製造業	建設業	小売業		飲食業	サービス業	合計
			最寄品	買回品			
調査件数	16	16	25	29	41	35	162
回答数	10	11	20	20	19	26	106
回答率	62.5%	68.8%	80.0%	69.0%	46.3%	74.2%	65.4%

3. 調査方法：郵送によるアンケート方式（一部経営指導員による聞き取り）
4. 調査項目：
 - （1）D I の状況について
 - ① 自社の状況 ② 売上額 ③ 資金繰り ④ 採算 ⑤ 従業員数
 - （2）設備投資について
 - （3）経営上の問題について
5. 調査データについて
 - （1）D I : Diffusion Index（ディフュージョンインデックス・景気動向指数）の略
各調査項目について、「増加」「好転」したとする企業割合から「減少」「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた数値で、企業の景況感の判断に使用する指数。
 - （2）データは当該期間（四半期ごと）と、その前年同期および向こう 3 ヶ月の見通しを対比したものです。
 - ・四半期：1 年の 4 分の 1、すなわち「3 ヶ月間」
 - ・前期比：3 ヶ月前との比較
 - ・前年同期比：1 年前との比較

< D I 計算例 >

「やや増加」「やや好転」50%、「変わらず」20%、「やや悪い」「やや減少」30%の場合、次の様な計算となります。

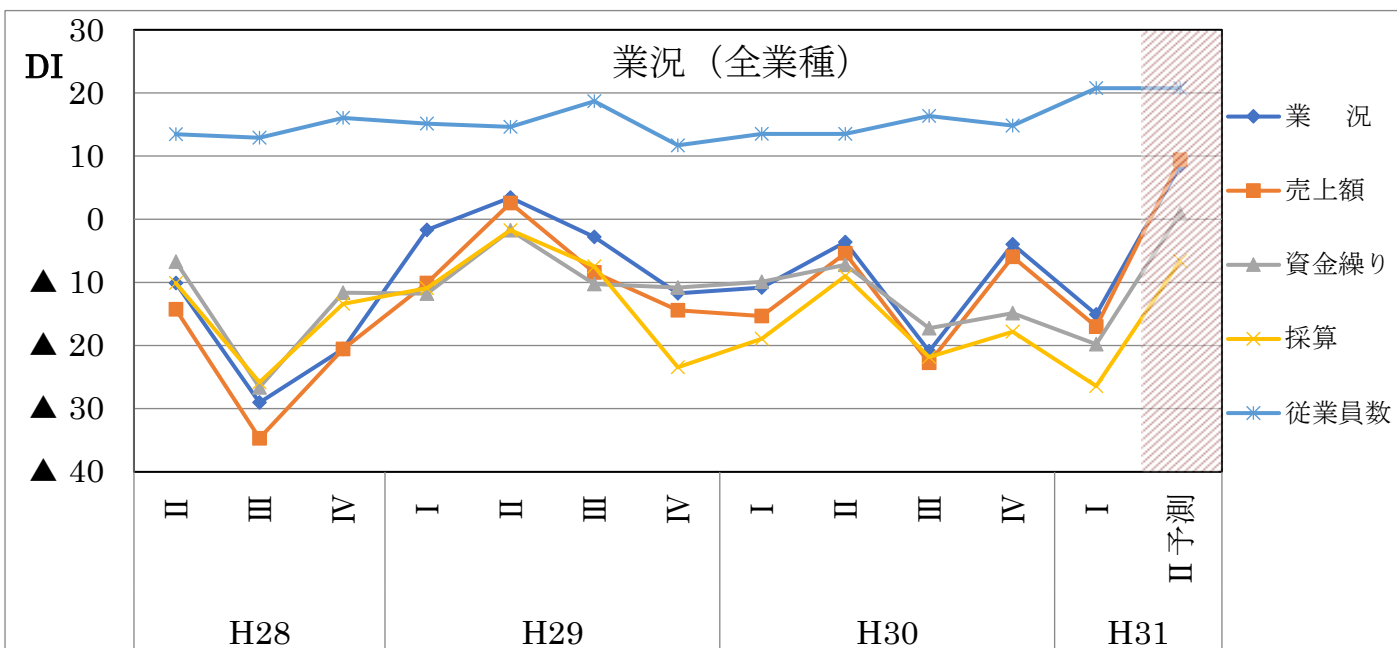
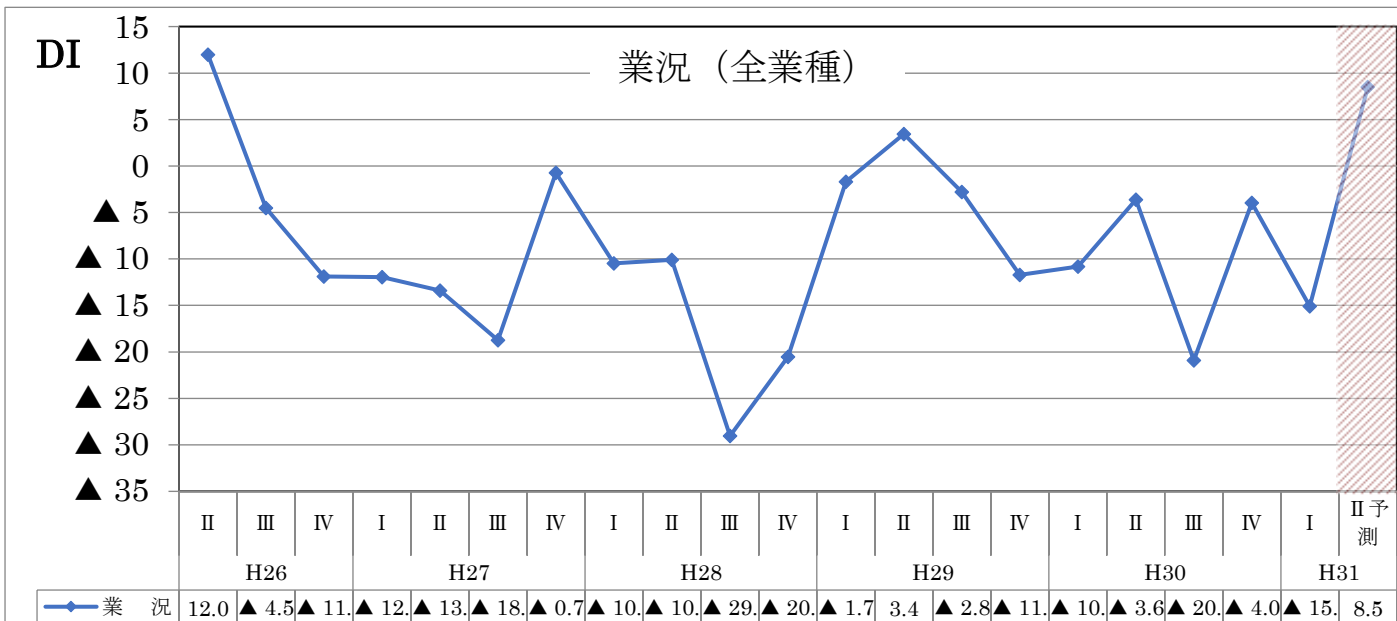
$$\begin{aligned} \text{D I} &= +50 - 30 \\ &= +20 \end{aligned}$$

《 調査結果

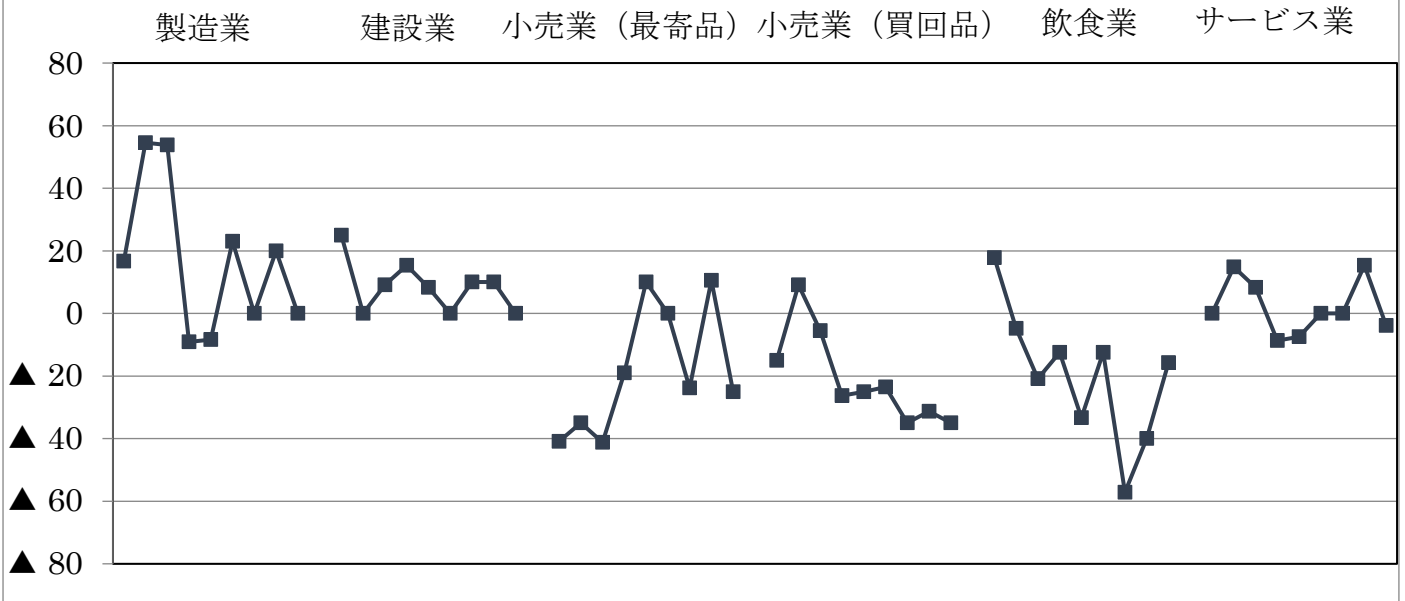
I. 全業種

□業況D I

- ・全業種の業況判断D Iは、▲15.1%（前期比 11.1 ポイント減）と大幅な低下が見られるものの、3ヶ月先は、+8.5%と再び回復の見通しである。
 - ・売上D Iは、▲17.0%（前期比 11.1 ポイント減）と大幅な低下が見られるが、3ヶ月先は、+9.4%と再び回復の見通しである
 - ・資金繰りD Iは、▲19.8%（前期比 4.9 ポイント減）と若干の低下が見られるが、3ヶ月先は、+0.9%と大きく回復の見通しである。
 - ・採算D Iは、▲26.4%（前期比 8.6 ポイント減）と大幅な低下が見られるが、3ヵ月先は、▲6.6%と回復の見通しである。
 - ・従業員数D Iは、+20.8（前期比 5.9 ポイント増）と人手不足は改善傾向にあるが、3ヶ月先も、+20.8%と横ばいが続く見通しである。
- ・業種別の業況判断D Iは、製造業、建設業、小売業（最寄品）、小売業（買回品）、サービス業で低下しているものの、飲食業では大幅な回復傾向が見られる。



業種別 業況判断DIの推移 (H 29年 1-3 月期~H 31年 1-3 月)

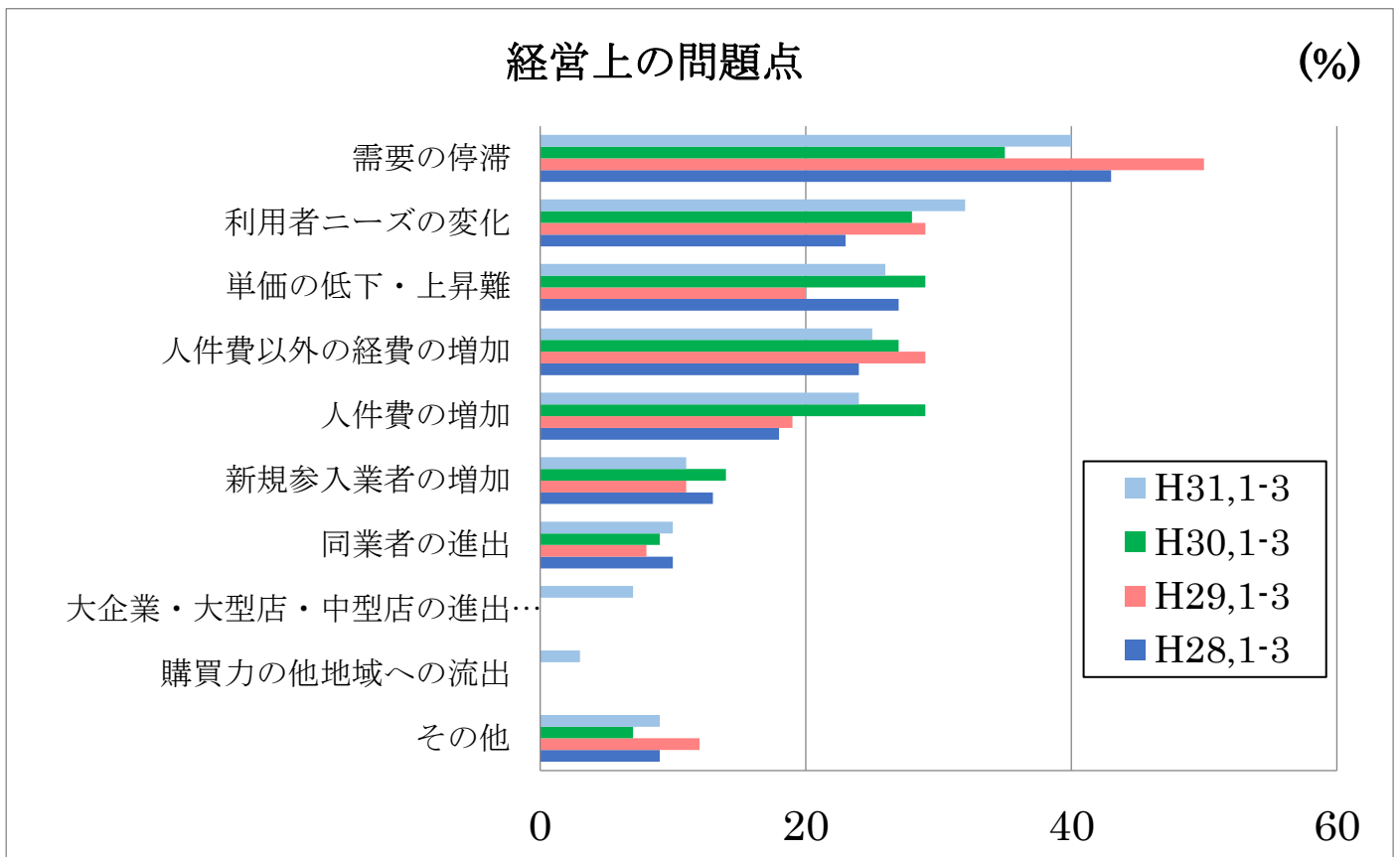


□設備投資の動向

- ・設備投資件数は 22 件（前期比 6 件減）となっている。その内訳は 0A 機器 6 件、機械設備 4 件、車両運搬具 4 件、建物等 4 件、その他 4 件となっている。

□経営上の問題点

- ・経営上の問題点（回答社数に対する比率）は、①需要の停滞 21%（42 社）が最も多く、②利用者ニーズの変化 17%（34 社）、③単価の低下・上昇難 14%（28 社）、④人件費以外の経費の増加 14%（27 社）⑤人件費の増加 13%（25 社）が続いている。

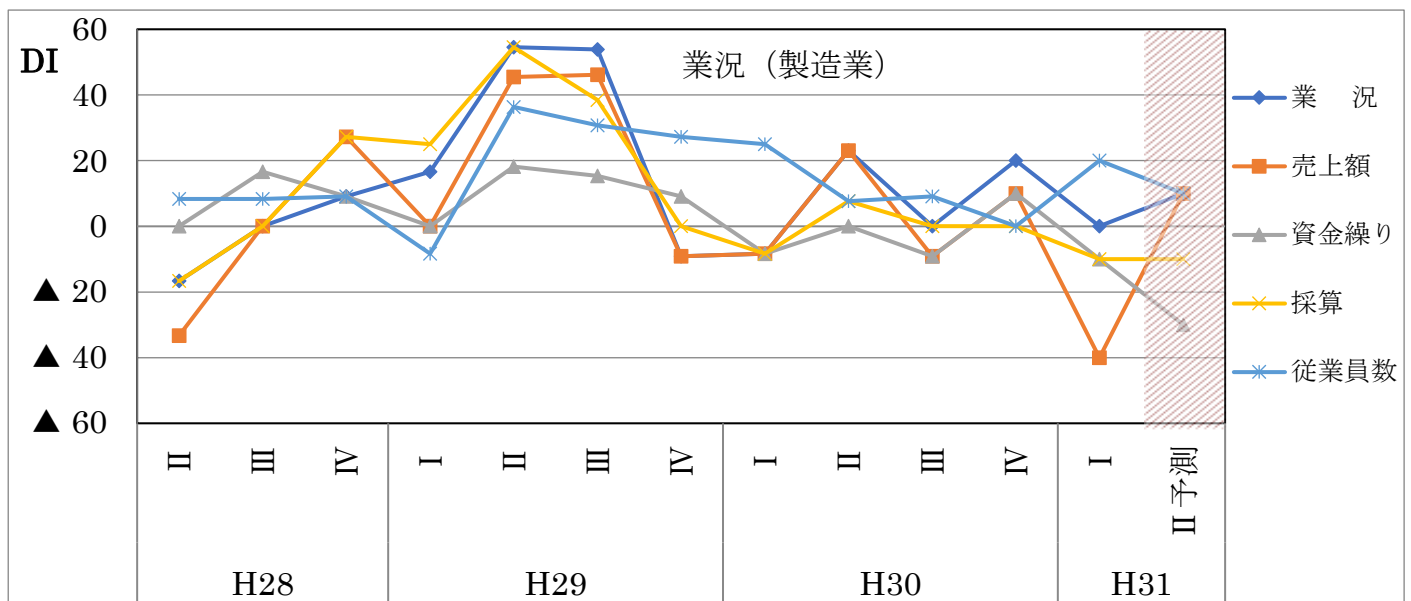


II. 業種別

1、製造業

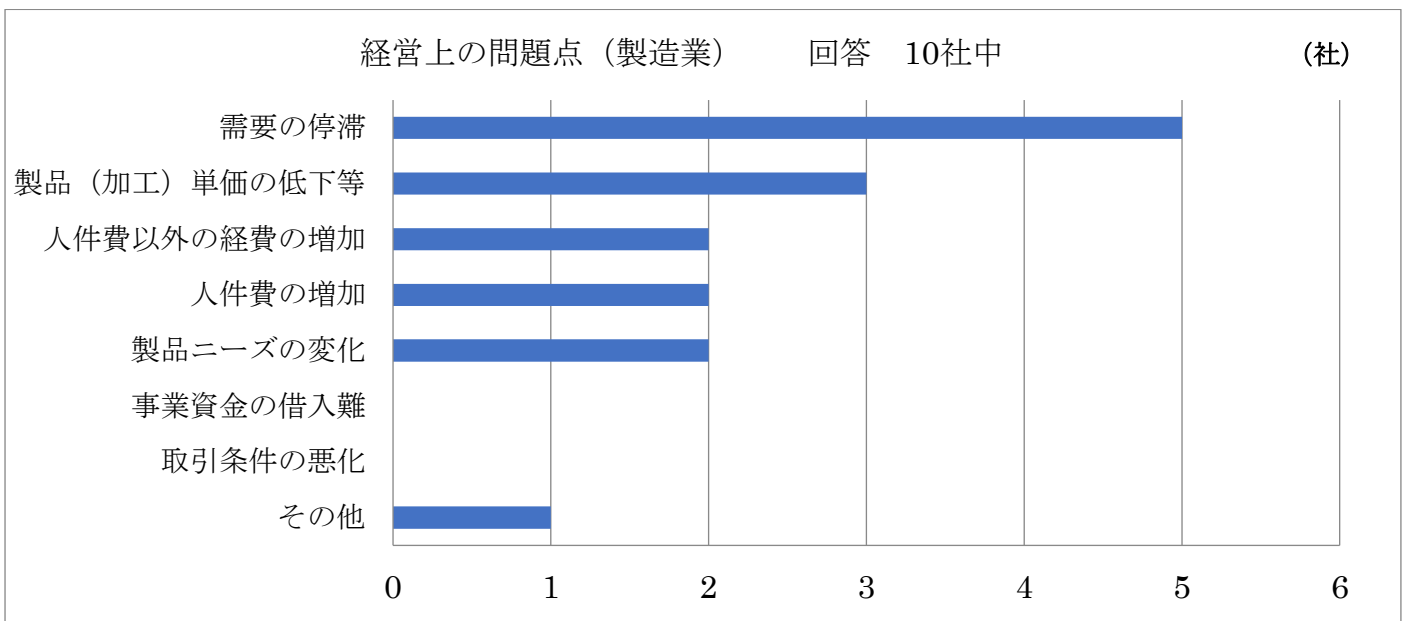
□業況D I

- ・業況判断D Iは、±0.0%（前期比 20.0 ポイント減）と大幅な低下となっているが、3ヶ月先は、+10.0%と回復の見通しである。
- ・売上D Iは、▲40.0%（前期比 50.0 ポイント減）と大幅な低下となっているが、3ヶ月先は、+10.0%と回復の見通しである。
- ・資金繰りD Iは、▲10.0%（前期比 20.0 でポイント減）と大幅な低下となっているが、3ヶ月先は、▲30.0%でさらに低下の見通しである
- ・採算D Iは、▲10.0%（前期比 10.0 ポイント減）の低下となっているが、3ヶ月先も、▲10.0%と横ばいの見通しある。
- ・従業員数D Iは、+20.0%（前期比 20.0 ポイント増）で人手不足は解消しつつあるが、3ヶ月先も、+10.0%とさらに人手不足が解消の見通しである。



□設備投資の動向 設備投資件数は機械設備 2 件、OA 機器 1 件、車輛運搬具で 1 件となっている。

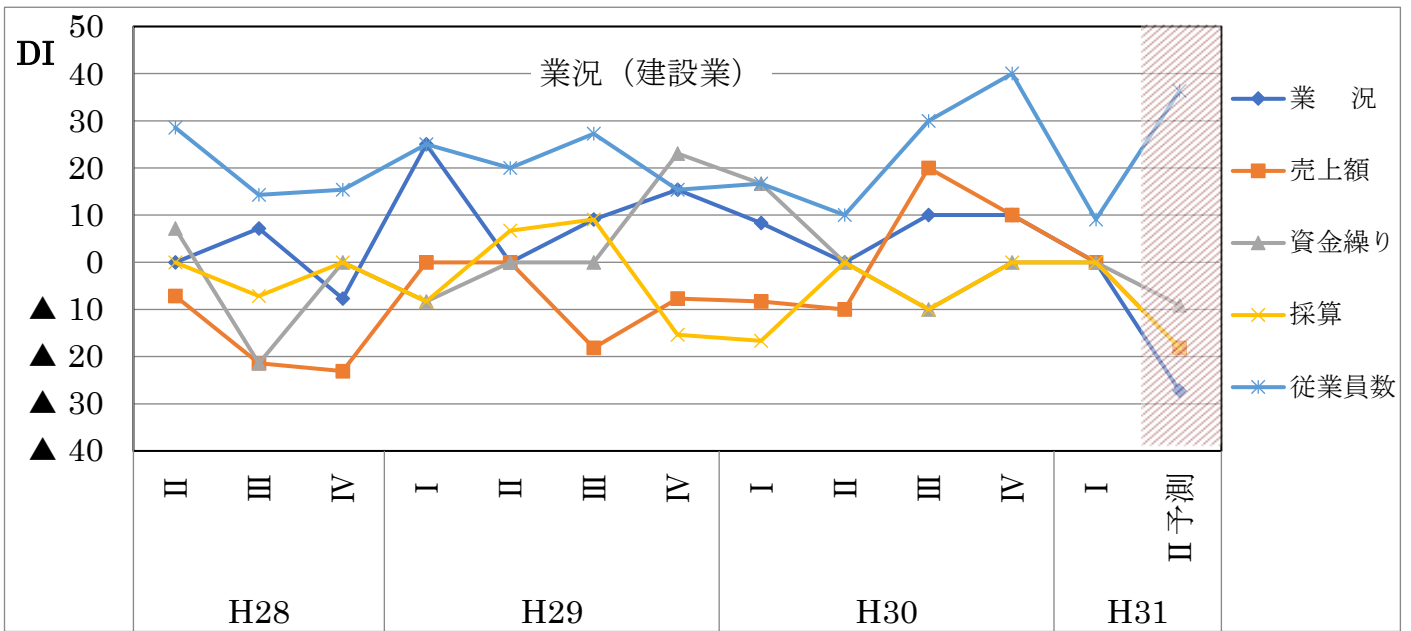
□経営上の問題点



2、建設業

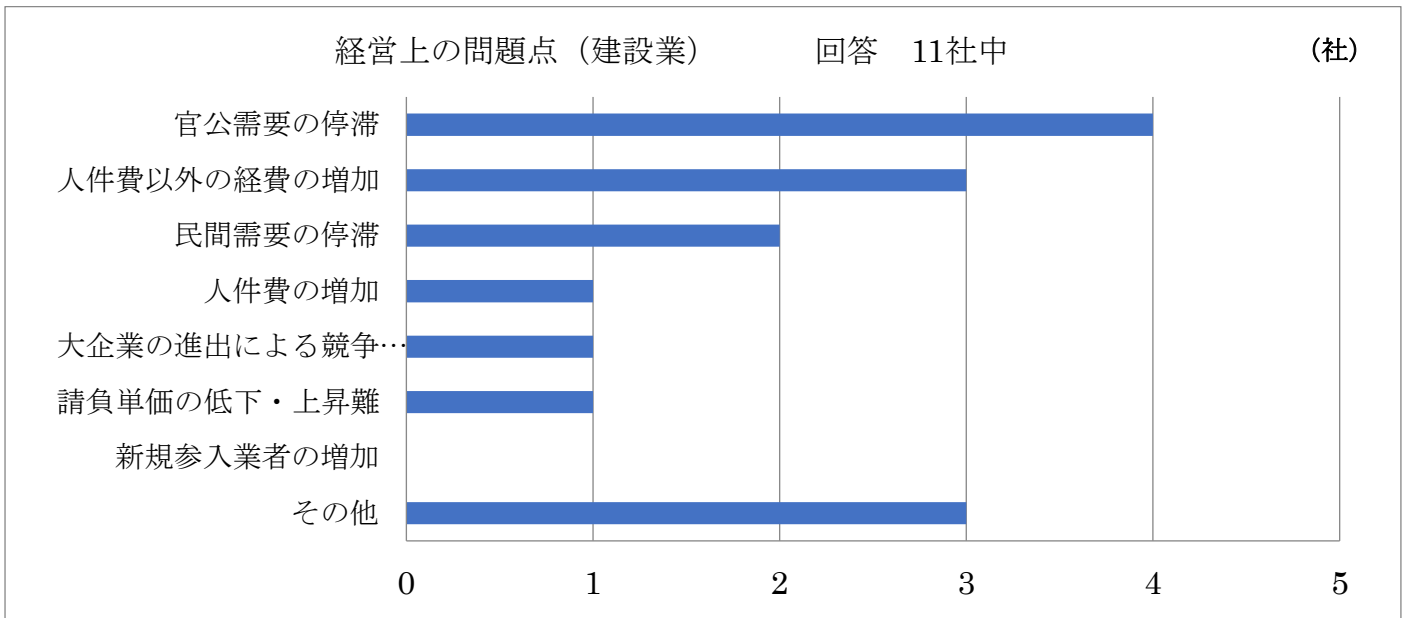
□業況D I

- ・景況判断D Iは、±0.0%（前期比 10.0 ポイント減）で低下しているが、3ヶ月先は、▲27.3%でさらに大幅に低下の見通しである。
- ・売上D Iは、±0.0%（前期比 10.0 ポイント減）と低下しているが、3ヶ月先は、▲18.2%でさらに大幅に低下の見通しである。
- ・資金繰りD Iは、±0.0%（前期比±0.0 ポイント）で横ばいとなっているものの、3ヶ月先は、▲9.1%と低下の見通しである。
- ・採算D Iは、±0.0%（前期比±0.0 ポイント）で横ばいとなっているものの、3ヶ月先は、▲18.2%と大幅に低下の見通しである。
- ・従業員数D Iは、+9.1%（前期比 30.9 ポイント減）で人手不足は解消しつつあるが、3ヶ月先は、+36.4%で再び人手不足が生じる見通しである。



□設備投資の動向 設備投資件数はOA機器2件、その他1件となっている。

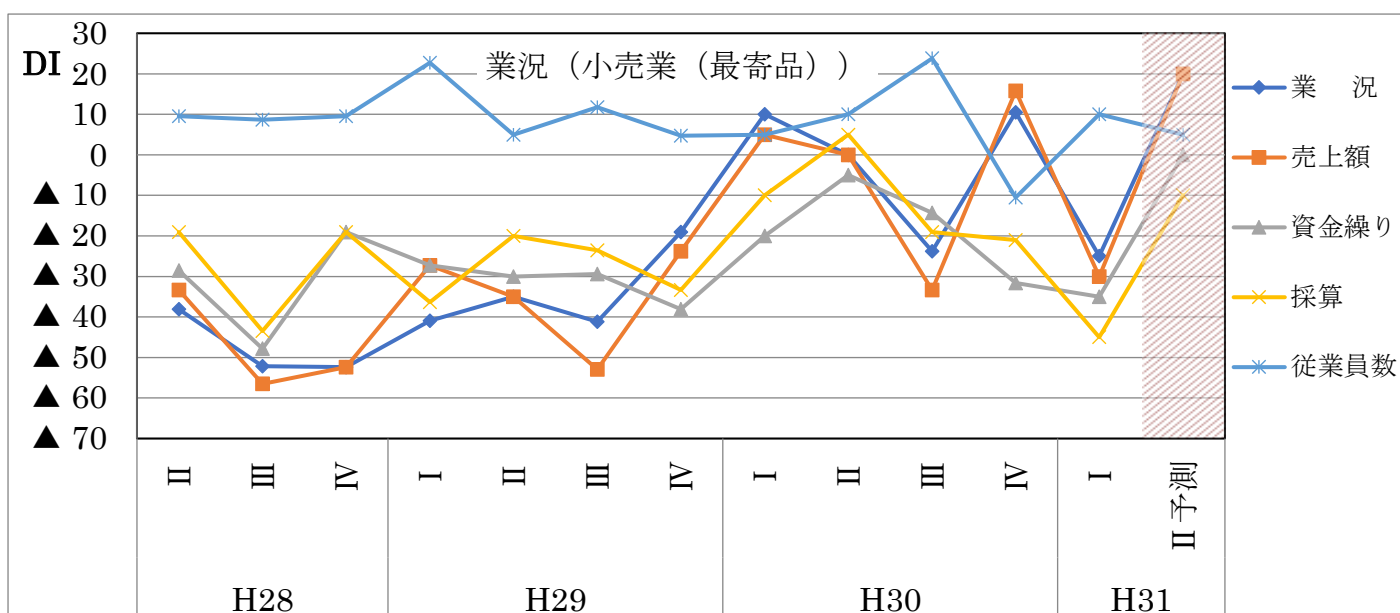
□経営上の問題点



3. 小売業（最寄品）

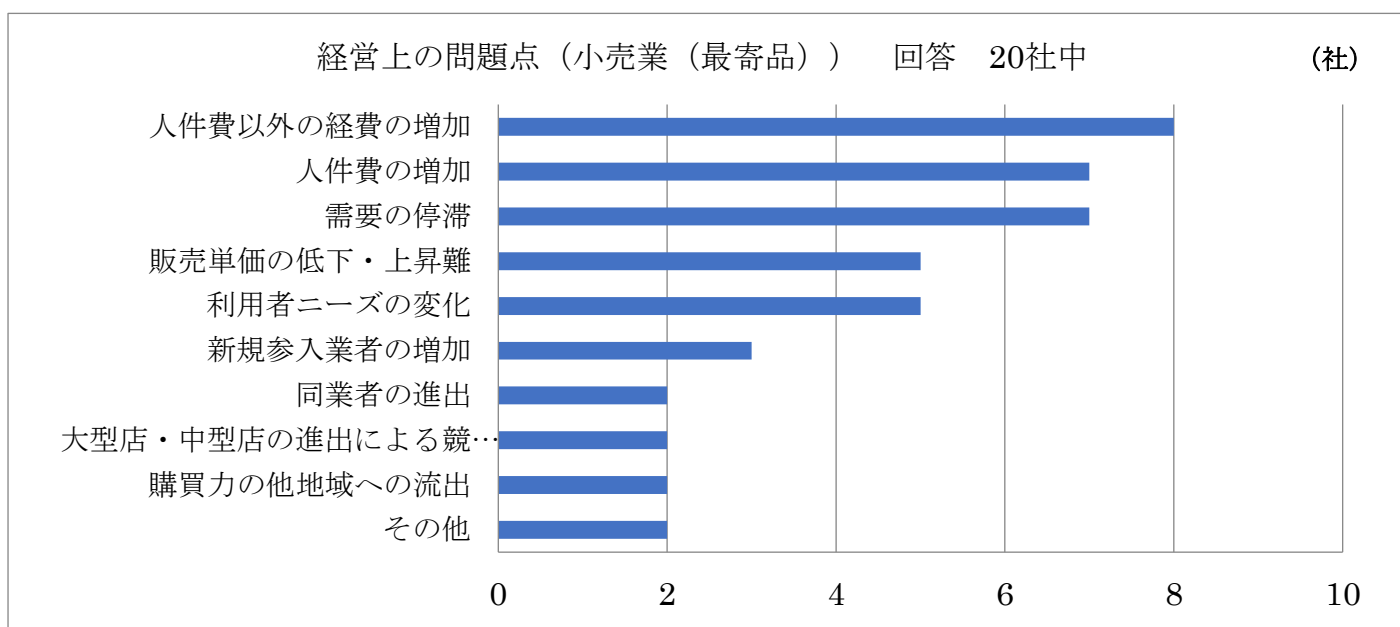
□業況D I

- ・景況判断D Iは、▲25.0%（前期比 35.5 ポイント減）と大幅に低下しているが、3ヶ月先は、+20.0%と大幅に回復の見通しである。
- ・売上D Iは、▲30.0%（前期比 45.8 ポイント減）と大幅に低下しているが、3ヶ月先は、+20.0%と大幅に回復の見通しである。
- ・資金繰りD Iは、▲35.0%（前期比▲3.4 ポイント減）と低下しているが、3ヶ月先は、±0.0%と大幅に回復の見通しである。
- ・採算D Iは、▲45.0%（前期比 23.9 ポイント減）と大幅に低下しているが、3ヶ月先は、▲10.0%と回復の見通しである。
- ・従業員数D Iは、+10.0%（前期比 20.5 ポイント増）と人手不足は大幅に拡大したが、3ヶ月先は、+5.0%とやや人手不足は改善の見通しである。



□設備投資の動向 設備投資件数は OA 機器 2 件、機械設備 1 件、建物等 1 件、その他 1 件となっている。

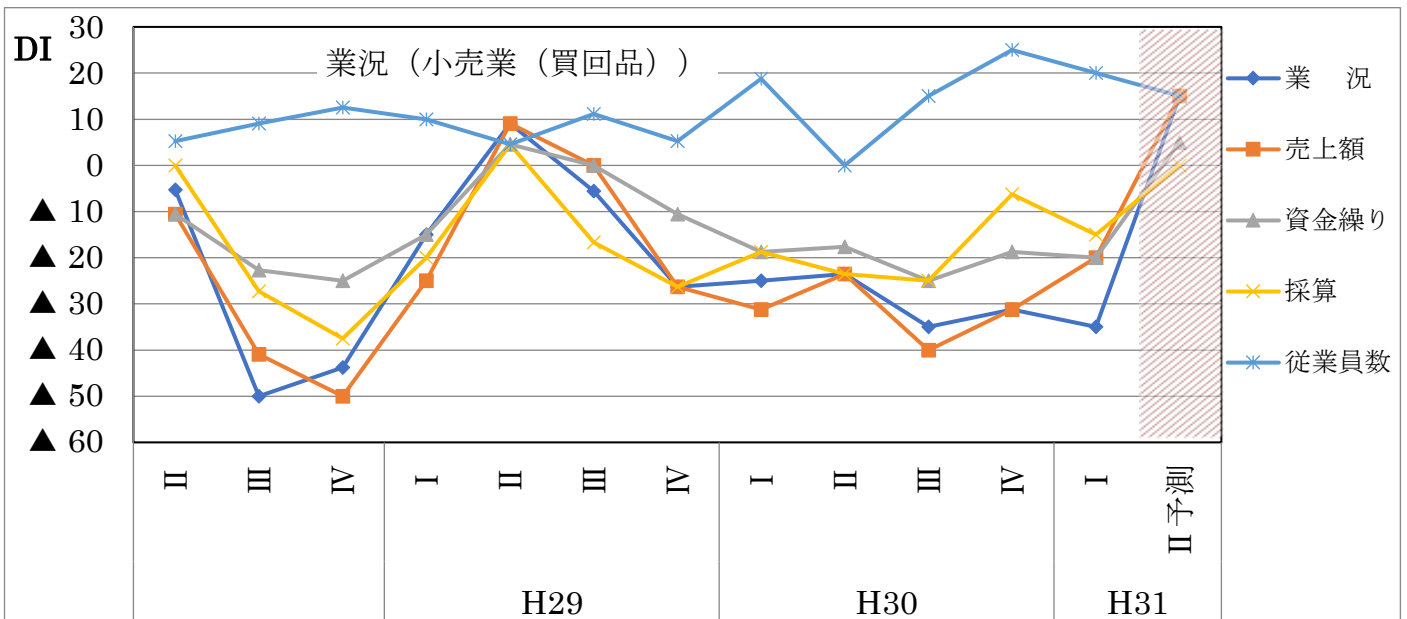
□経営上の問題点



4、小売業（買回品）

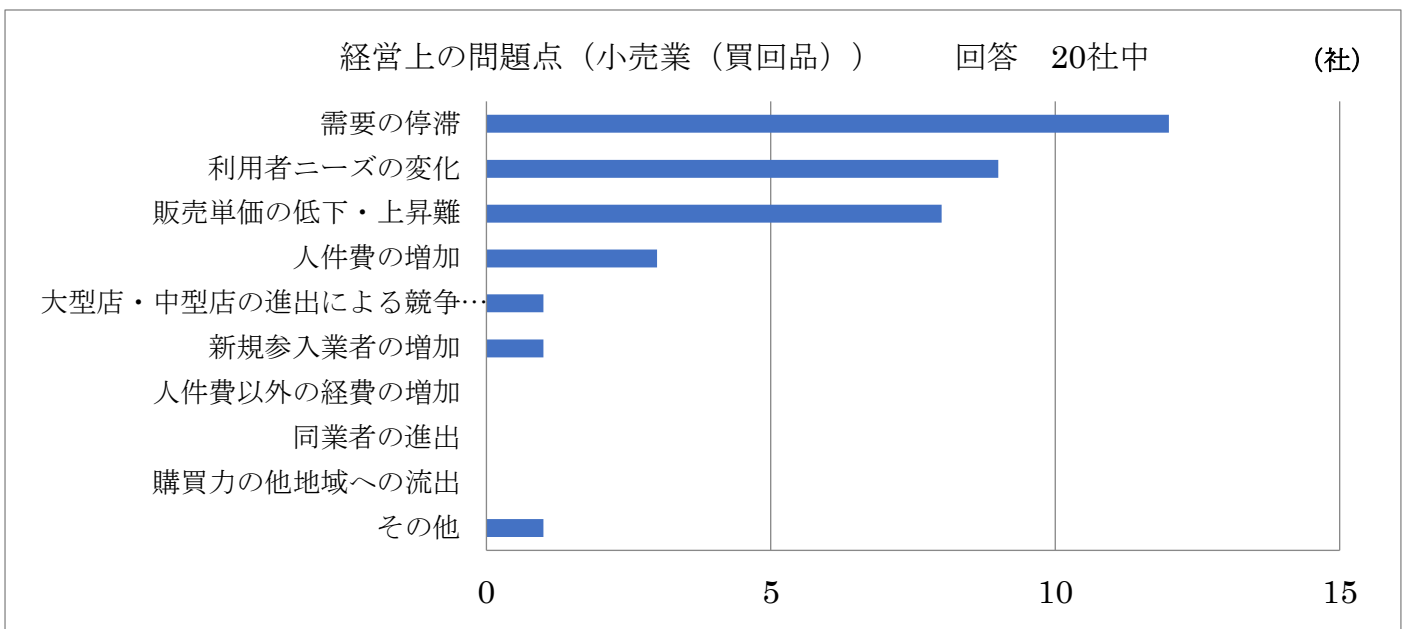
□業況D I

- ・業況判断D Iは、▲35.0%（前期比 3.7 ポイント減）でやや低下しているが、3ヶ月先は、+15.0%で大きく回復の見通しである。
- ・売上D Iは、▲20.0%（前期比 11.3 ポイント増）と回復しているが、3ヶ月先は、+15.0%でさらに大きく回復の見通しである。
- ・資金繰りD Iは、▲20.0%（前期比 1.2 ポイント減）でやや悪化しているが、3ヶ月先は、+5.0%で大きく回復の見通しである。
- ・採算D Iは、▲15.0%（前期比 8.7 ポイント減）で悪化しているが、3ヶ月先は、±0.0%で大きく回復の見通しである。
- ・従業員数D Iは、+20.0%（前期比 5.0 ポイント減）で人手不足が解消されつつあるが、3ヶ月先は、+15.0%でさらに人手不足は解消される見通しである。



□設備投資の動向 OA 機器 1 件、建物等 1 件となっている。

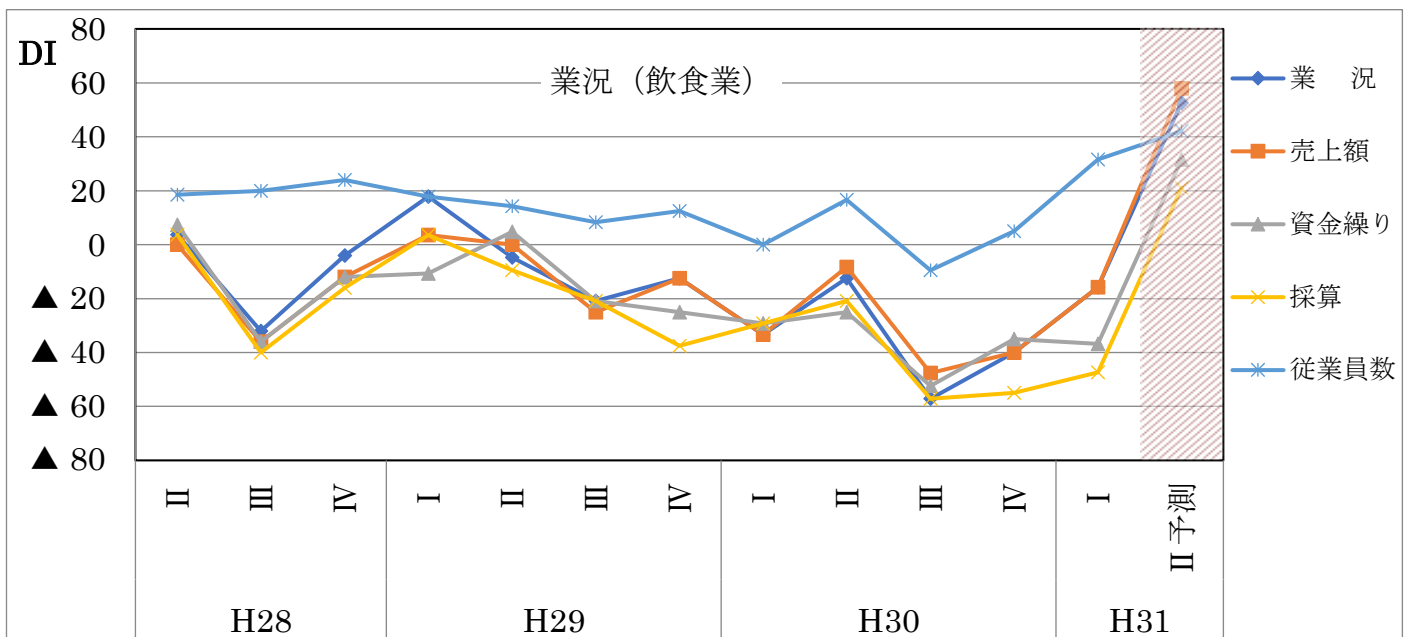
□経営上の問題点



5、飲食業

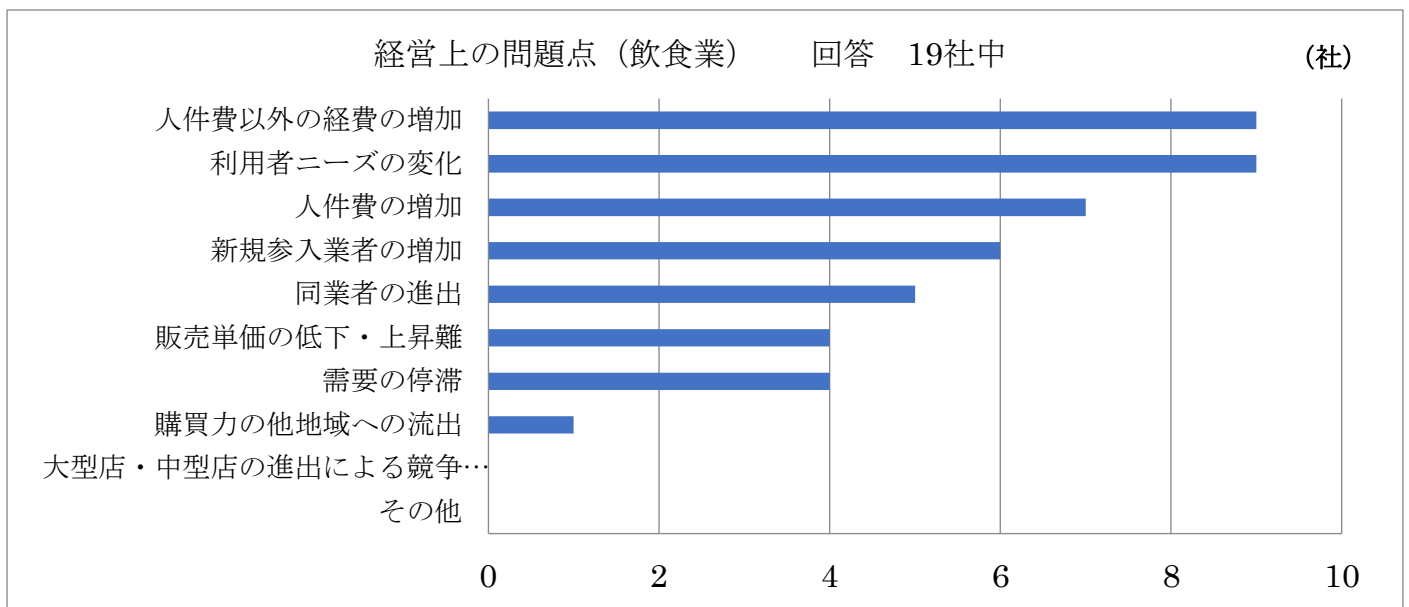
□業況D I

- ・業況判断D Iは、▲15.8%（前期比 24.2 ポイント増）と大幅に回復しているが、3ヶ月前は、+52.6%とさらに大幅に回復の見通しである。
- ・売上D Iは、▲15.8%（前期比 24.2 ポイント増）と大幅に回復しているが、3ヶ月前は、+57.9%とさらに大幅に回復の見通しである。
- ・資金繰りD Iは、▲36.8%（前期比 1.8 ポイント減）とやや低下しているが、3ヶ月前は、+31.6%で大幅に改善の見通しである。
- ・採算D Iは、▲47.4%（前期比 7.6 ポイント増）とやや改善したが、3ヶ月前は、+21.1%とさらに大きく改善の見通しである。
- ・従業員数D Iは、+31.6%（前期比 26.6 ポイント増）と人手不足が拡大したが、3ヶ月前は、+42.1%とさらに人手不足が拡大の見通しです。



□設備投資の動向 設備投資件数は車両運搬具 1 件、建物等 1 件、その他 1 件となっている。

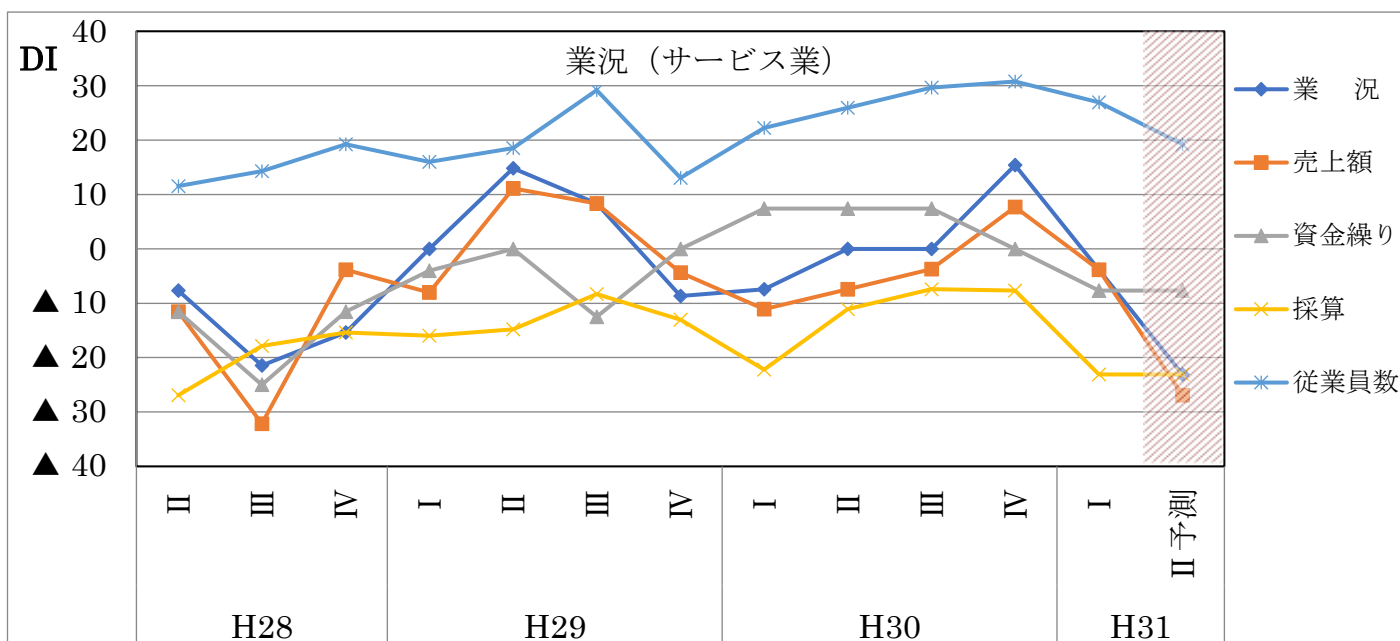
□経営上の問題点



6、サービス業

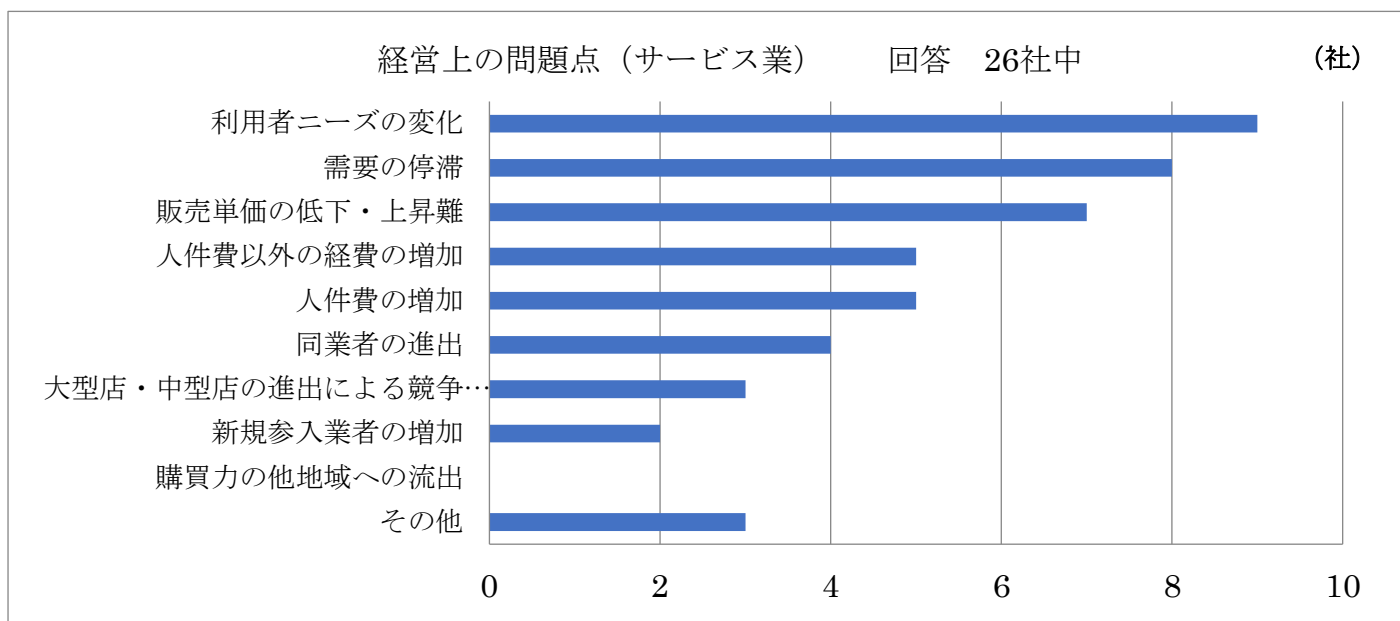
□業況D I

- ・業況判断D Iは、▲3.8%（前期比 19.2 ポイント減）と大幅に低下しているが、3ヶ月先は、▲23.1%とさらに大幅に低下の見通しである。
- ・売上D Iは、▲3.8%（前期比 11.5 ポイント減）と大幅に低下しているが、3ヶ月先は、▲26.9%とさらに大幅に低下の見通しである。
- ・資金繰りD Iは、▲7.7%（前期比 7.7 ポイント減）と低下しているが、3ヶ月先も、▲7.7%と横ばいの見通しである。
- ・採算D Iは、▲23.1%（前期比 15.4 ポイント減）と大幅に低下しているが、3ヶ月先も、▲23.1%と横ばいの見通しである。
- ・従業員数D Iは、+26.9%（前期比 3.9 ポイント減）とやや人手不足が解消されているが、3ヶ月先は、+19.2%とさらに人手不足が解消される見通しである。

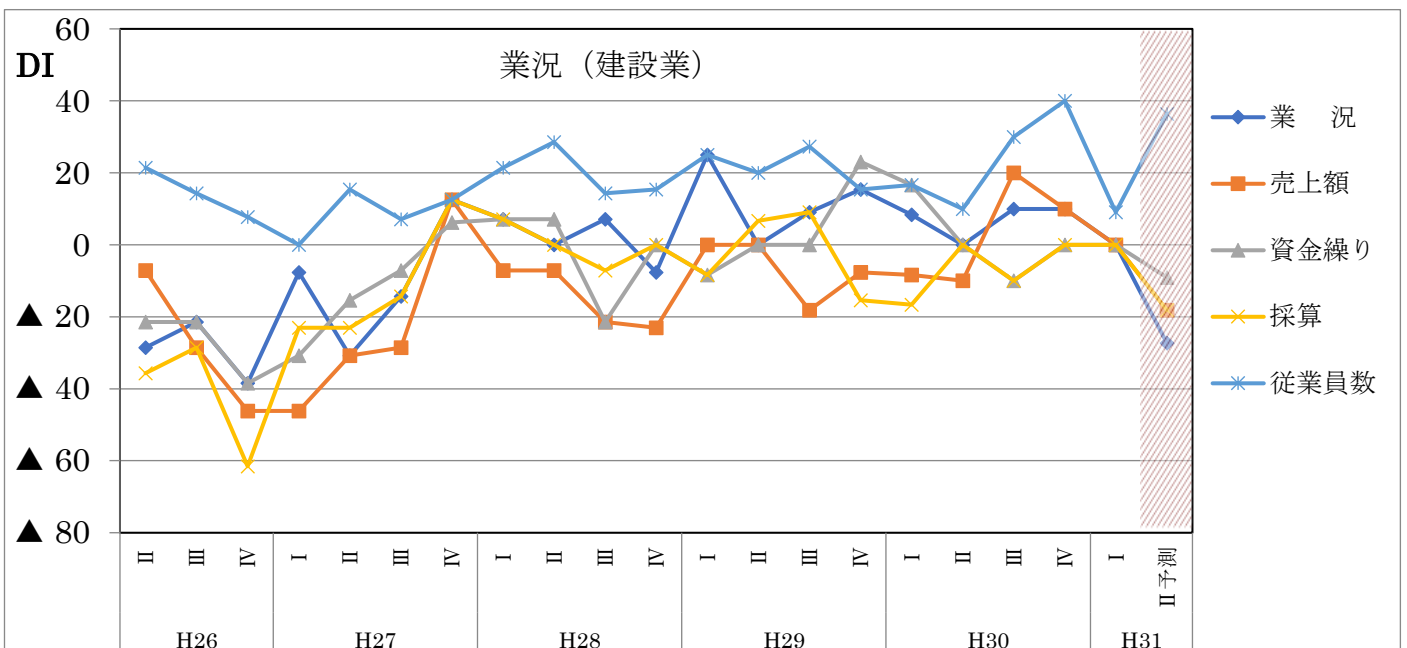
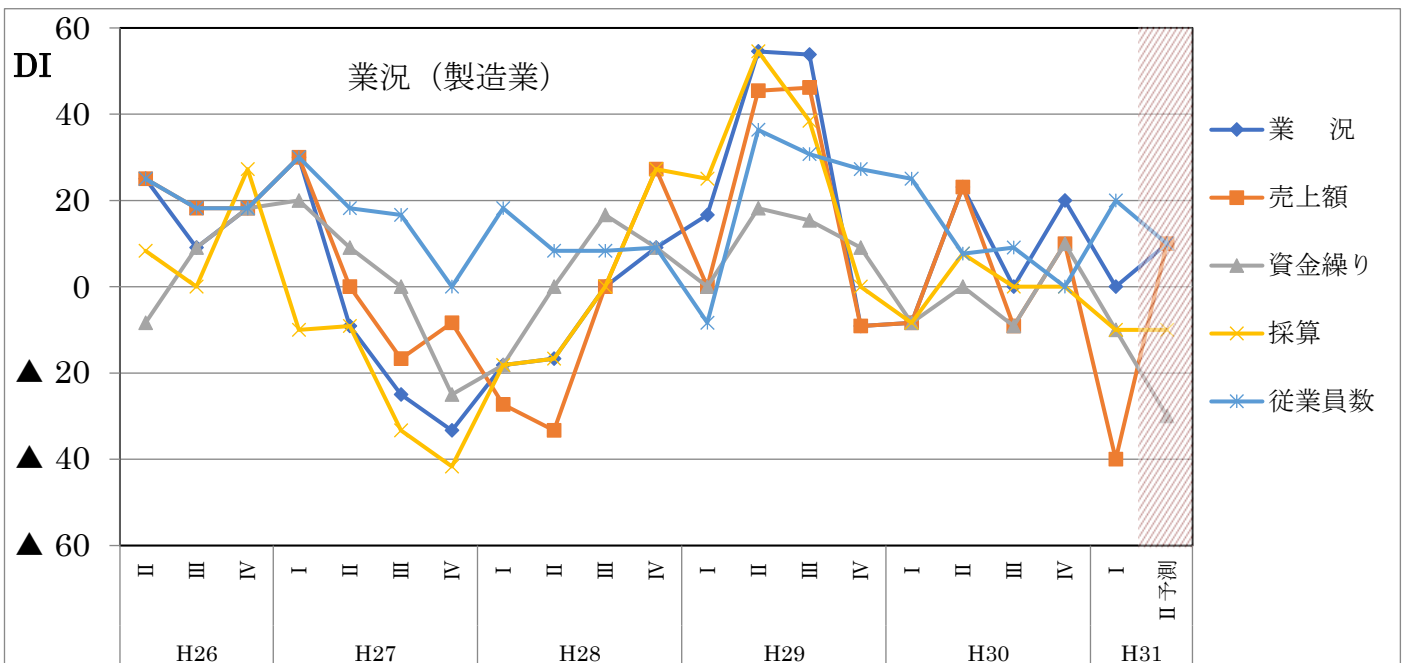
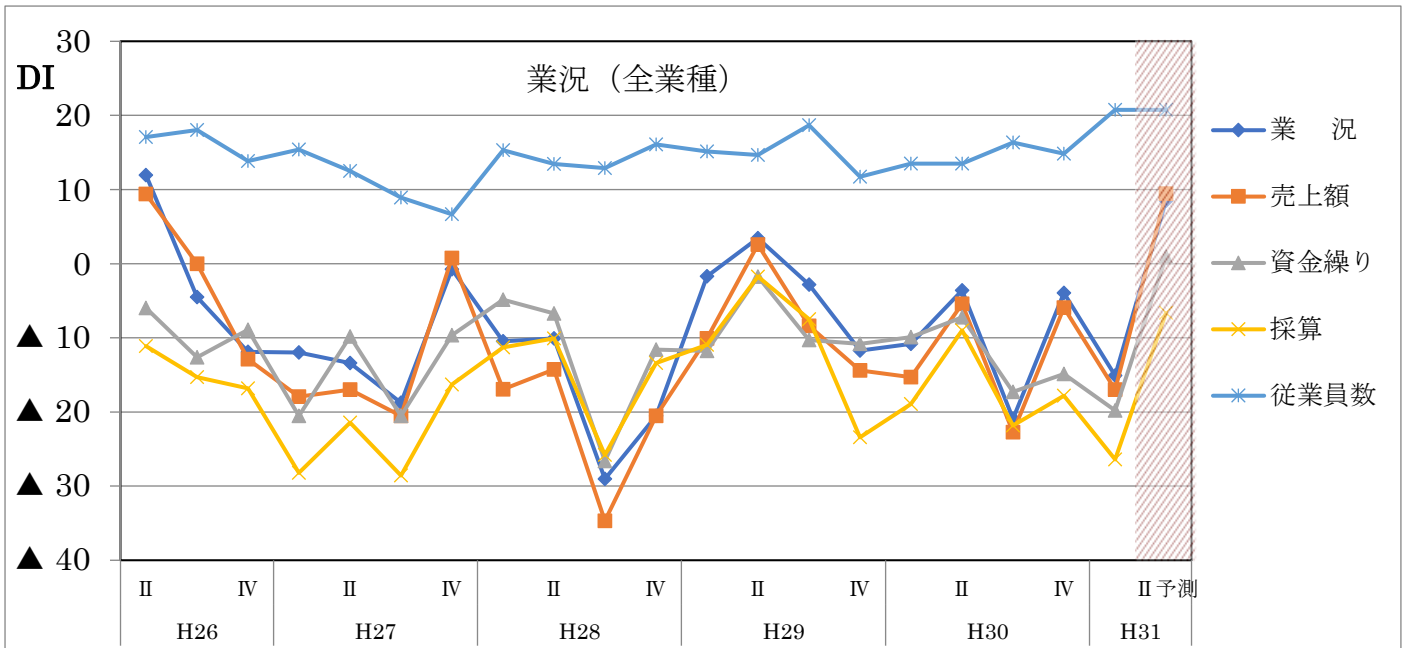


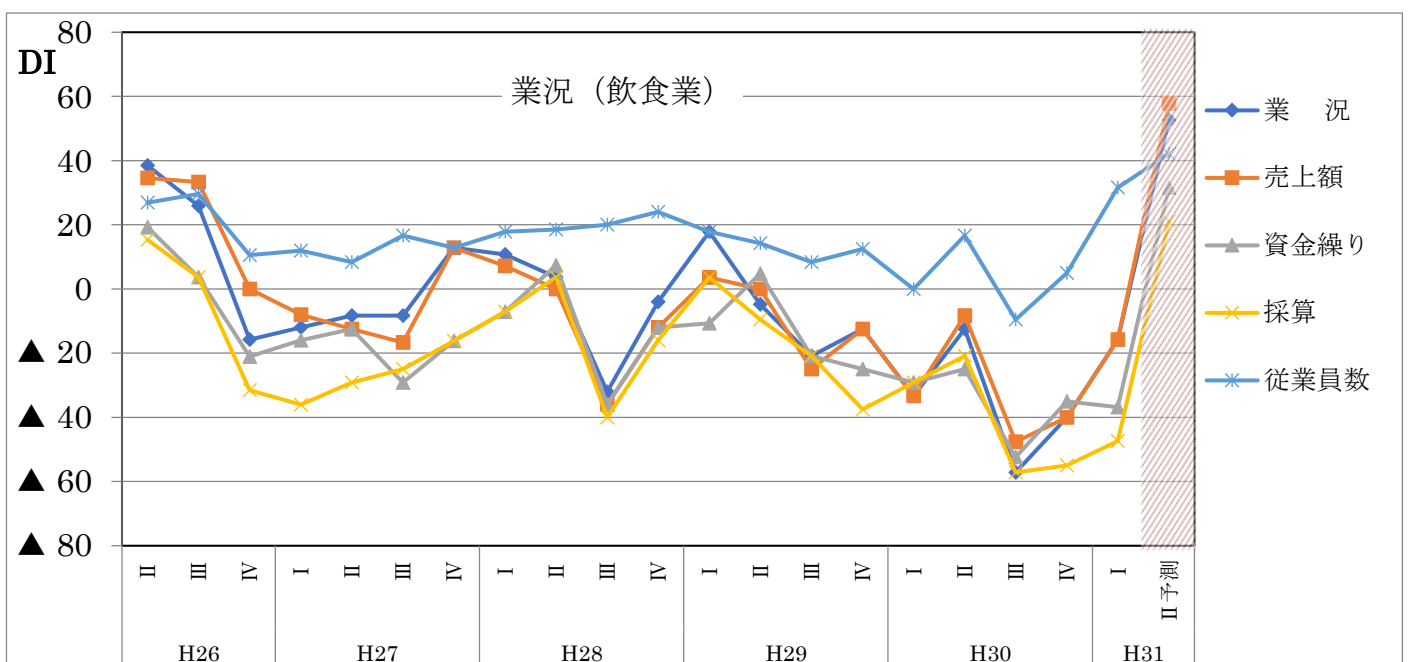
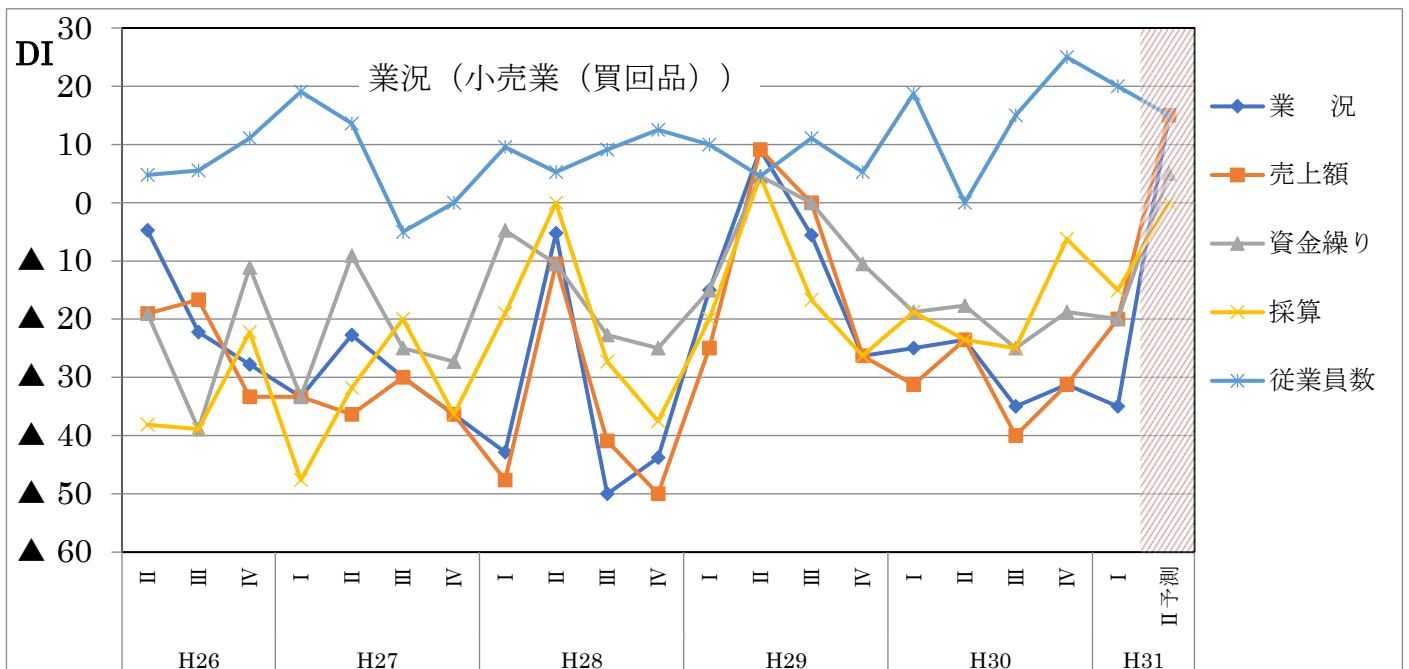
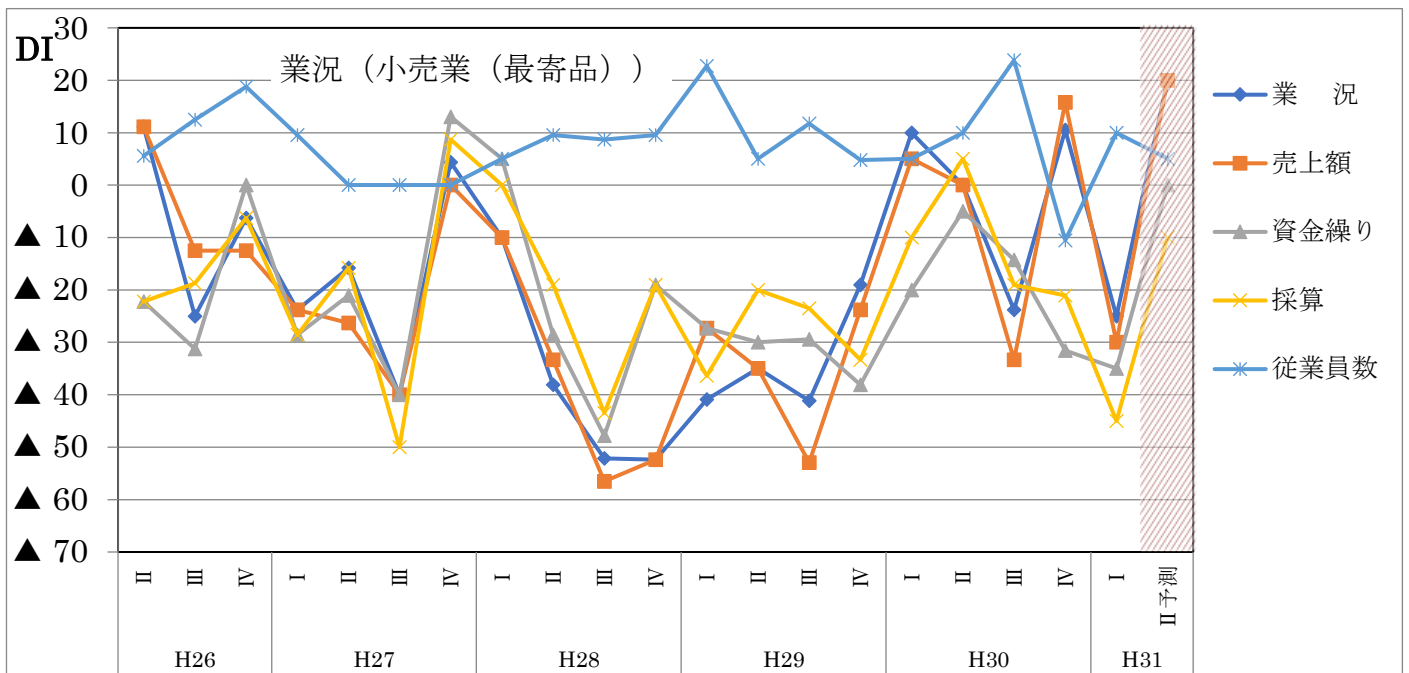
□設備投資の動向 説投資件数は機械設備 1 件、車両運搬具 2 件、建物等 1 件、その他 1 件となっている。

□経営上の問題点



《資料》5年分の推移





小売業 (最寄品)	H26			H27				H28				H29				H30				H31	
	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ予測
OA機器	2	1	2	1	0	0	0	0	3	1	2	1	3	0	2	2	3	1	0	2	0
機械設備	2	2	2	2	0	2	4	0	1	4	0	2	0	2	2	0	3	2	1	1	1
車輛運搬具	1	0	0	2	2	1	0	2	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
建物	1	2	2	3	2	2	1	1	2	2	1	2	1	0	2	1	1	0	2	1	1
その他	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	2	1	0	0	0	1	0

小売業 (買回品)	H26			H27				H28				H29				H30				H31	
	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ予測
OA機器	1	1	1	1	0	0	0	3	1	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0
機械設備	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0	4	2	0	0
車輛運搬具	1	0	0	1	0	0	0	2	2	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
建物	0	0	0	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0

飲食業	H26			H27				H28				H29				H30				H31	
	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ予測
OA機器	2	1	1	1	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	2	1	0	0	0
機械設備	5	4	4	0	2	1	1	1	0	1	3	2	5	3	2	2	1	2	4	0	1
車輛運搬具	2	2	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	1	1	1	0
建物	2	2	2	2	1	0	1	0	1	1	2	1	0	1	0	1	1	0	1	1	1
その他	2	1	1	1	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0

サービス業	H26			H27				H28				H29				H30				H31	
	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ予測
OA機器	3	3	3	2	1	1	1	4	6	2	3	1	4	2	3	1	3	2	5	0	1
機械設備	0	1	1	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	2	0	0	1	1
車輛運搬具	1	2	2	2	0	0	1	1	1	1	1	0	1	1	2	0	0	1	2	2	2
建物	1	1	1	2	1	2	3	2	1	1	1	1	1	3	2	1	2	1	1	1	1
その他	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0